

3Q

【3】つの【Q】uestiοn

Q：世界で何が起こっているのだろう

Q：自分の身の回りで何が起こっているのだろう

Q：自分にできることは何だろう

総合学科推進部

令和7年9月24日NO.3



ゼミフェス 参加 @宮城野高校

8月28日(木)に宮城野高校で開催された「ゼミフェス(探究発表会)」に、農業技術科 農業科学コース3年「課題研究」から1グループ、総合学科3年「総合的な探究の時間」から4グループが参加しました。3月に中間発表会を参観させていただいた縁から、招待を受け、発表を行う運びとなりました。宮城野高生や他の招待校生が発表を行う中で、農林生も堂々と発表を行いました。また、総合学科2年生9名が参観し、他校生や本校3年生の発表する姿から刺激を受け、多くのことを学ぶことができました。

発表テーマ：

- ・「腸活豚」(農業科学コース畜産専攻)
- ・「どうしたら汚い水を利用することができるのか」(自然科学系列C班)
- ・「子どもの体力低下に歯止めをかけるための学校での有効的な手立て」
(健康福祉系列E班)
- ・「男性がスカートを履けるようにするにはどうしたらよいか」(人文社会系列B班)
- ・「梨のワケあり商品をどう活かすか」(人文社会系列D班)



“自ら課題を設定し、適切な情報を集め、整理・分析し、答えを見いだす力”

“その過程と成果を相手にわかりやすく伝える力”

探究活動で身につく力は、今後みなさん方が社会で求められる力となります



ケアブレンドカフェ 開催 @小牛田農林

9月6日(土)にケアブレンドカフェ(小牛田農林高校こどもフェス)が開催されました。美里町近隣に住む子どもとその保護者、約115名が参加し、農林の校舎内外を会場にゲームや本校の学科、コース、部活動の特色を生かした様々な企画を楽しみました。各学科、コースによる展示の他、農業技術科農業科学コース草花班によるレジンキーホルダー作りや生物部調教班による牛とのふれあい、吹奏楽部による楽器体験に加えて、大型トラクターの乗車体験も行われました。

農林生約20名がボランティアスタッフとして、準備から運営を支え、2時間に及ぶフェスは子どもたちの笑顔で溢れ、大盛況で終了しました。

ボランティア活動は、“外(地域)・人とつながる絶好のチャンス”
積極的に参加して、たくさん学び、自分を成長させていきましょう

各学年の取り組みについて紹介します。

3学年

〈総合的な探究の時間～系列探究～〉

学科横断探究交流会から

第2サイクルへ

7月15日(火)に行われた「学科横断探究交流会」では、総合学科と農業技術科3年生が合同で探究活動と課題研究の中間発表を行いました。1・2年生は発表を聴き、次年度以降の探究活動をイメージし、3年生は発表を通して自分たちの研究や探究を深めることができました。

夏休み中に外部調査を行ったグループがあり、「廃棄北浦梨の活用」を探求するグループは町内梨農家の方にインタビューを行い、「子どもの体力低下」を探求するグループは、不動堂放課後児童クラブで行われたイベントに参加しました。第2サイクルがスタートし、今後はテーマに基づく実験、インタビュー、アンケート等の調査を行い、生のデータを収集したり、様々な方の声を聴いたりすることで、内容をさらに深めていきます。



2学年

地域探究フィールドワーク

〈総合的な探究の時間～美里探究～〉 9月26日(金)

美里探究の一環として、県内の他地域を訪れ、独自の取り組みや課題の現状を視察します。塩竈・多賀城、村田・蔵王、女川・石巻の3方面に総合学科2年生がクラスごとに分かれて研修します。他の地域を視察することによって視野を広げ、現在行っている探究活動をより充実をさせることをめざします。各地の取り組みについて学び、実際に見て、触れて、考えて、現地で様々なことを吸収した結果、美里町の活性化に向けてどのようなアイディアが生まれるのか、今から楽しみです。稻穂祭では、各地での学びを展示発表する予定です。

1学年

〈産業社会と人間〉

科目選択ガイダンス実施

9月4日(木)



総合学科ならではの「自分だけの時間割」の作成に向けて、科目選択ガイダンスが行われました。各教科の先生方から、2年生、3年生の選択科目について丁寧に説明を受け、一人ひとりが自分の進路目標や興味関心を念頭に置きながら、真剣に話を聞きました。今後は担任の先生と面談をしながら、将来の自己実現を見据えた「自分だけの時間割」を完成させていきます。

1・2年生のみなさんは、
上の学年（少し先）の取り組みに注目してみましょう。